

AWARDS

OIOS 2006 GRAND CHAMPION

Paph.Leeanum



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2007

沖縄国際洋蘭博覧会

VOL.21 2007

Guidelines for Applications

実施要綱

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会組織（委員名簿）

役職	氏名	所 属	役職	氏名	所 属
実行委員長	富田 祐次	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 理事長	委 員	外間 勝嘉	沖縄県花卉園芸農業協同組合 代表理事組合長
副委員長	嘉数 昇明	沖縄県副知事 (土木建築部担当副知事)	"	渡嘉敷 正彦	(社) 沖縄県造園建設業協会 会長
委 員	畑 信裕	日本洋蘭農業協同組合 組合長	"	赤嶺 羊染	沖縄県華道連盟会長
"	護得久 友子	沖縄県農林水産部 農業振興統括監	"	翁長 幸子	(社) 日本フラワーデザイナー協会 沖縄県支部長
"	松本 真一	沖縄県観光工部 観光交流統括監	"	安里 靖	(社) 日本生花通信配達協会 沖縄県支部長
"	白井 栄	沖縄県土木建築部 建築都市統括監	"	豊平 良孝	沖縄タイムス社 文化事業局長
"	大城 榮治	沖縄県蘭協会 会長	事務局長	花城 良廣	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 本部長
"	砂川 博紀	沖縄県農業協同組合 常務理事	事務局	西銘 宜孝	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 植物課長

■実施団体■

1. 主催

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所
(財) 海洋博覧会記念公園管理財団

2. 共催

沖縄県蘭協会、沖縄県農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、
(社) 沖縄県造園建設業協会、日本洋蘭農業協同組合、
(社) 日本フラワーデザイナー協会、(社) 日本生花通信配達協会、
沖縄県華道連盟

3. 後援

〈行政〉内閣府、外務省、農林水産省、国土交通省、文化庁、
沖縄県、沖縄県教育委員会

〈団体〉日本・蘭協会、全日本蘭協会、蘭友会、(社) 日本造園建設業協会、(社) ランドスケープコンサルタンツ協会、(財) 日本花普及センター、(社) 日本家庭園芸普及協会、(社) 日本植物園協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会、
沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(社) 沖縄県経営者協会、沖縄県緑化種苗協同組合、(社) 日本旅行業協会沖縄県支部、(社) 沖縄県バス協会、(社) 全国旅行業協会沖縄県支部、
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合、(社) 沖縄県ハイヤー・タクシー協会、沖縄県個人タクシー事業協同組合、那覇個人タクシー事業協同組合

〈マスコミ〉NHK沖縄放送局、琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、琉球朝日放送(株)、
(株) ラジオ沖縄、(株) エフエム沖縄、(株) 琉球新報社、(有) 沖縄観光速報社、沖縄パシフィックプレス社

4. 特別協賛

全日本空輸(株)、(株) 沖縄タイムス社

■実施要領■

●一般公開／平成19年2月3日(土)～2月12日(月)までの10日間

●会 場／海洋博公園 熱帯ドリームセンター

●審査会／平成19年2月2日(金) AM10:00～PM5:00

●審査規定／

①認定審査部門／一般に認定されていない新花を対象とし、あらかじめ定められた評価基準により審査委員の持ち点の平均点で次の各賞が認定されます。

- ◎FCC賞 90点以上
- ◎AM賞 80点～89点以上
- ◎HCC賞 75点～79点以上

②コンクール審査部門／投票で選出され次の賞が認定されます。

- ※最優秀賞：出展された全ての洋蘭を対象とし、最も優れた作品を選考する。選考は審査委員の投票によって決定する。
- ※優秀賞：鉢物審査、切花審査、ディスプレイ審査、フラワーデザイン審査、外国出展審査のそれぞれを目的として出展された洋蘭又は作品を対象とし、各部門で最も優れた作品を選考する。各賞は、審査委員の投票によって決定する。
- ※優良賞：優秀賞の選考基準に準ずる。
- ※奨励賞：優秀賞の選考基準に準ずる。

●表彰規定／

①認定審査部門

- ◎FCC賞 若干名……最高額100万円
- ◎AM賞 若干名……最高額70万円
- ◎HCC賞 若干名……最高額30万円

②コンクール審査部門

- ※最優秀賞
沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)………1点100万円
- ※優秀賞
・鉢物審査の部 沖縄及び北方対策担当大臣賞………1点30万円
・切花審査の部 農林水産大臣賞………1点30万円
・ディスプレイ審査の部 国土交通大臣賞………1点30万円
・フラワーデザイン審査の部 文部科学大臣賞………1点30万円
・外国出展審査の部 外務大臣賞………1点30万円
- ※優良賞
・鉢物審査の部 沖縄総合事務局局長賞………1点20万円
・切花審査の部 沖縄県知事賞………1点20万円
・ディスプレイ審査の部 沖縄県知事賞………1点20万円
・フラワーデザイン審査の部
日本フラワーデザイナー協会理事賞………1点10万円
日本生花通信配達協会会長賞………1点10万円
・外国出展審査の部 沖縄総合事務局局長賞………1点20万円
- ※奨励賞
・若干名 (財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞(副賞、各スポンサー賞)

AWARDS



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2007

沖縄国際洋蘭博覧会

CONTENTS

目次

挨拶..... 2

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田 祐次

Greetings

Chairman of Okinawa International Orchid Show

Committee,

Mr. Yuji Tomita

平成18年度入賞作品 AWARDS 2007

- コンクール審査部門／Competition..... 3
- 認定審査部門／Certification..... 14
- 審査員名簿／List of Judges..... 19
- いけばな展／Ikebana Exhibition..... 20
- スナップ／Snaps..... 22
- ランに関する講演会／
Lecture on the Circumstances of Orchids 28
- 出展者紹介／Participants..... 30
- 記念品について／Souvenirs..... 31
- 協賛団体紹介／Introduction of Sponsors..... 32





挨拶 (Greetings)

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田祐次

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee.
Mr. Yuji Tomita

「沖縄国際洋蘭博覧会 2007」の開催に際しましては、多数の出展並びに、絶大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本洋蘭博覧会は盛況裏に終了することができました。

国営沖縄記念公園、熱帯ドリームセンターの開園を機に開催された本洋蘭博覧会も今回で第21回目を迎えることができ、更に、出展内容も今まで以上に充実した成果を挙げることができましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、国内外の洋蘭専門家を招いての講演会では、多数の参加者による活発なご意見、ご質問があり、本洋蘭博覧会の目的である「情報交換、技術の普及・向上」等の事業が少なからず達成できたものと思います。

出展においては、本県はもとより国内からは26都府県、そして国外からはタイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、フィリピン、台湾から参加があり、また出展内容も国内外からの出展数が多くなる等、これまでにない成果を挙げることができました。

幸い、本県は洋蘭の栽培には気候的な条件等にも恵まれております。国内外の洋蘭愛好者や生産者が一堂に会し親睦の和を広げ、情報交換、技術の普及の場として、また、洋蘭を通した国際社会の形成と本県の観光並びに花卉園芸の普及、さらには都市緑化にも大きく貢献していくことと思います。

次回、第22回目を迎える本洋蘭博覧会では、これまでの実績をもとに、新たな目標に向かって努力する所存でありますので、愛好者並びに生産者におかれましても尚一層のご研鑽をご期待申し上げると同時に、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

I would like to take this opportunity to express my deepest gratitude to all exhibitors to the "Okinawa International Orchid Show 2007" and to all those who have so generously provided their assistance and cooperation with the presentation of this event, there by making it such a notable success.

The "Okinawa International Orchid Show" was first held to mark the opening of the Tropical Dream Center at the Okinawa Commemorative National Government Park. This year's show is especially significant in that it marks the 21th of the event. This year's show is on a higher level than ever before, and I would like to thank everyone who has contributed to this.

Lectures given by reknown experts from throughout Japan and abroad feature a lively repartee of questions and opinions. Such occasions lead in sure, steady steps, to the goals of our orchid exhibits: information exchange and progress and dissemination of technical expertise.

Exhibitors this year have come from Okinawa Prefecture itself, from a further 26 Japanese prefectures, from Southeast Asia, notably from the Thailand, Malaysia Indonesia, Singapore, Taiwan, and Philippines. As befits such a commemorative event, the exhibits have been of unprecedented quantity and quality.

Okinawa is fortunate in possessing a climate ideally suited to the cultivation of orchids; the prefecture is currently in the process of becoming the main center of orchids production in Japan. These circumstances clearly enhance the significance of this event. I believe that Okinawa will become a focal point for the generation of information on orchid production both inside and outside Japan. I also hope that orchids will serve as the medium where by Okinawa can make an important contribution to international society, to tourism within the prefecture, to the diffusion of horticulture, and by extension to the promotion of greenery in the urban environment.

We intend to build on our past achievements and to aim toward the realization of new objectives at the 22th "Okinawa International Orchid Show" to be held next year. In the meantime, I would like to ask both producers and lovers of orchids to raise their standards to yet higher levels. May I also ask you for your continuing support and cooperation with this event.

平成19年2月

February 2007

コンクール審査部門 (Competition)

沖縄国際洋蘭博覧会大賞
(内閣総理大臣賞)
(Grand Champion)



Rhy. gigantea fma. spot 'Hsinying'



Mr. Shui En Kao
台湾

沖縄国際海洋博覧会に参加して10年以上になります。外務大臣賞を受賞した経験はありますが、最優秀賞は初めてです。たいへんうれしく、光榮に思います。今回の作品はコンパクトで、バランスが良かったことが評価されたと思っています。リンコスチリス属はミャンマー、タイ、ベトナムの境界が原産地で、沖縄との気候の差があまりなく、きれいに咲いてくれたことも幸いしたようです。

コンクール審査部門 (Competition)

鉢物審査の部

(Potted Plant)

優秀賞／沖縄及び北方対策担当大臣賞

PRIZE : Minister of State (Okinawa and Northern Territories Affairs)



Paph. Sweet Lemon 'Ueda'



片山 郁夫
Mr.Ikuo Katayama
山口県 玖珂郡和木町

ランを始めてまだ20年くらいですが、疑問があったらどこまでも追求しよう..といういままでの努力が実った感じです。諸先輩の教えが良かったことなども重なって、自分の努力が報われたと思っています。

奨励賞

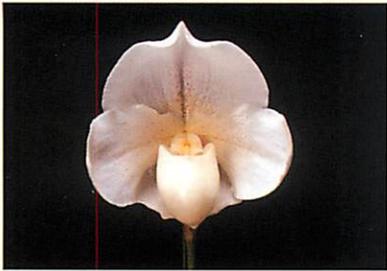
海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Paph. Lippewunder 'Mutumi'
落合 功 / Mr. Isao Ochiai
賞品提供 / 沖縄県蘭協会



Lyc. Shoalhaven × Shonan Beat 'Eiko.K'
河本 栄子 / Ms. Eiko Koumoto
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



Paph. knight's chalice 'Mem Nobuyuki Hanajima'
佐藤 健二 / Mr. Kenji Sato
賞品提供 / 宗像洋ラン愛好会



Paph. Stone Lovely 'Smile Mao'
山本 滋 / Mr. Shigeru Yamamoto
賞品提供 / 九州洋ラン会



Pot. Rebeca Markel Sangre Depalom
奥間 政正 / Mr. Seisho Okuma
賞品提供 / 神戸蘭友会

優良賞 / 沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



Den. usitae 'Long well'
永井 清
Mr. Kiyoshi Nagai
神奈川県小田原市

今回応募した花の株は、13~14年間大事に育ててきたものです。今年は満作を迎え、沖縄の皆様にご覧いただきたく出品致しました。優良賞をいただきましたことを、うれしく思っております。



Pot. Hey Song 'Tian Mu'
有限会社 新垣洋らん園
賞品提供 / 日本・蘭協会



Bcl. Chian-Tzy Warm 'Queen Himiko'
安長蘭園
賞品提供 / 横須賀洋蘭クラブ



Odm. Rawdon Jester 'Maki'
牧 久雄 / Mr. Hisao Maki
賞品提供 / 北部らん友会



Rhy. gingaantea 'Riyubi'
福地 恒夫 / Mr. Tsuneo Fukuchi
賞品提供 / 全日本蘭協会



Paph. lowii 'Dragon Fly'
齋藤 雅徳 / Mr. Masanori Saito
賞品提供 / 蘭友会



V. lamellata 'miarabi'
宮良 祐次 / Mr. Yuji Miyara
賞品提供 / 広島県洋らん協会

コンクール審査部門 (Competition)

切花審査の部

(Cut Flower)

優秀賞 / 農林水産大臣賞

PRIZE : Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries



Blc. Pamela Hetherington × Lc. John Mac Arthur



山城 和子 / Ms. Kazuko Yamashiro
沖縄県糸満市

初めての優秀賞でうれしいの一言です。この切花は、交配から無菌栽培までは主人が行いました。ラン栽培はずっと、夫婦二人で取り組んでいます。次回は、もうひとつ上の高い賞を目指したいと思います。

優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



Mokara Five Friendships Fullmoon #2

Mr. Prakong Pimsamarn
プラコーン・ピムサーマン
(タイ国)

今回優秀賞受賞をうれしく
思っています。この作品は、
農園での産業生産化を目指し、
10年以上掛けて選ばれた
組み合わせです。

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Mokara Five Friendships Fullmoon #1
Mr. Prakong Pimsamarn
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



Mokara Five Friendships Fullmoon #3
Mr. Prakong Pimsamarn
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



Onc. ミレニアム ゴールド
大城 巖 / Mr. Iwao Ohshiro
賞品提供 / 沖縄県農業協同組合



Den. レモン ベル
屋宜 宣武 / Mr. Noritake Yagi
賞品提供 / 沖縄県花卉園芸農業協同組合



Dtps. Acker's Sweetie 'D.T'
Mr. Nan Hui Su
賞品提供 / 日本洋蘭農業協同組合

コンクール審査部門 (Competition)
ディスプレイ審査の部
(Display)

優秀賞/国土交通大臣賞

PRIZE : Minister of Land, Infrastructure and Transport



テーマ/「萌動・光彩～木の芽どき～」
沖縄県立北部農林高等学校 園芸工学科
沖縄県名護市

萌動という言葉は、みんなで緑にまつわるキーワードを辞書で探しているときにみつけました。とても苦労したのは、苔を自然にあるかのように見せることでした。優秀賞の知らせを聞いたときは、鳥肌が立ちました。

優良賞／沖縄県知事賞
PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



テーマ／「花の未来ゾーン」
沖縄熱帯植物管理株式会社
沖縄県本部町

うれしいです。2年前に優秀賞をいただき、その後ずっと今回のテーマのイメージを膨らませてきました。これまで造ってきた土木系の雰囲気を大きく変え、洋ランを中心に未来ゾーンを構想しました。

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「自然の中の滝と蘭の庭園」
Chaiwat Orchid Preecha Nursery
賞品提供／(社)日本造園建設業協会



テーマ／「妖精の宿る森」
宮里グリーンサービス
賞品提供／(社)沖縄県造園建設業協会



テーマ／「大自然の楽園」
ピオラの丘・(有)らんの里沖縄
賞品提供／(社)ランドスケープコンサルツ協会



テーマ／「いちばん桜春の便り」
本部造園株式会社
賞品提供／沖縄県緑化種苗協同組合

コンクール審査部門 (Competition)
フラワーデザイン審査の部
(Flower Design)

優秀賞／文部科学大臣賞

PRIZE : Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology



テーマ／「花まつり」

島袋 つや子／Ms. Tsuyako Shimabukuro

沖縄県 うるま市

5回目の挑戦で優秀賞をいただき感無量です。当初は別のイメージで制作しようと思っていたのですが、入ってきた花材を見て、臨機応変にテーマを変えたのが良かったと思っています。今後も精進を重ねます。

優良賞／(社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞
PRIZE : Chairman of directors, Nippon Flower Designers Association

優良賞／(社)日本生花通信配達協会会長賞
PRIZE : President of Japan Florists Telegraph Delivery Association



斉藤 有代
Ms. Ariyo Saito
沖縄県浦添市

花や葉のひとつひとつの動きをいかすことができるデザインを心掛けました。とても深いホルドー系の色で構成しているので凛とした感じも意識しました。



テーマ／「東雲の光」
新垣 弘美
Ms. Hiromi Arakaki
沖縄県那覇市

今回は花材よりもテーマを先に決めました。日がさす感じを出せたら・・・という思いを込めました。土台にサンズベリアを使うことで、身近な感じを出しました。

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「南ぬ風(フェーンカジ)」
翁長 幸子 / Ms. Sachiko Onaga
賞品提供 / 株式会社 日本航空



小川 初美 / Ms. Hatsumi Ogawa
賞品提供 / (社) 日本生花通信配達協会



外間 末珠 / Ms. Suemi Hokama
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



テーマ／「台風の前」
淡川 モリ子 / Ms. Moriko Minatogawa
賞品提供 / (有) らんの里 沖縄



テーマ／「光と風のシンフォニー」
飯室 宏治 / Mr. Koji Iimuro
賞品提供 / (社) 日本フラワーデザイナー協会



テーマ／「花と鉄のコラボレーション」
阿波根 秀子 / Ms. Hideko Ahagon
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団

コンクール審査部門 (Competition)
外国出展審査の部
(Foreign Countries)

優秀賞／外務大臣賞

PRIZE : Minister of Foreign Affairs



V. Mevr L Velthuis × Vascostylis Nong Kham

Mr.Prakong Pimsamarn

タイ国

優秀賞受賞を光榮に思っています。感謝申し上げます。出品した花は、バンダとリンコスチリスとの掛け合わせです。望ましいクローンを得るために選ばれた組み合わせで、今回の花が初花でした。

優良賞／沖縄総合事務局賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



V. Pimchai Beauty × V. Taveesuksa
Mr. Krairit Vejvarut
タイ国

沖縄国際洋蘭博覧会には
これまでに2度参加させて
いただきましたが、今回は
初めて賞を意識して出展し
ました。上質なランをつく
るには努力を要します。
私のスタッフたちの協力に
感謝をしたい気持ちです。

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



V. Robert's Delight 'NENG'
Ms. Suwanna Techachareonsukchila タイ国
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



Paph. Pademonium 'Shock wave'
Mr. Shui En Kao 台湾
賞品提供 / CHINA AIRLINES 沖縄支店

認定審査部門 (Certification)



Paph. Ripple 'Mika' AM/OIOS
四国・大場ラン園



Paph. Lippewunder 'surrey' AM/OIOS
落台 功/Mr.Isao Ochiai



Paph. Sweet Lemon 'Ueda' HCC/OIOS
片山 郁夫/Mr.Ikuo Katayama



Pot. Hey Song 'Tian Mu' HCC/OIOS
有限会社 新垣洋らん園



Paph. { (Clair de Lune x Ruby Leopard) x Macabre } 'kopyy' HCC/OIOS
黒田 温/Mr.Yutaka Kuroda



Odm. Rawdon Jester 'Maki' HCC/OIOS
牧 久雄/Mr.Hisao Maki



Blc. King of Taiwan 'Arakaki' HCC/OIOS
有限会社 新垣洋らん園



Lyc. (Shoalhaven x Shonan Beat) 'Eiko.K' HCC/OIOS
河本 栄子/Ms.Eiko Koumoto

認定審査部門 (Certification)



Den. usitae 'Long well' HCC/OIOS
永井 清/Mr. Kiyoshi Nagai



Rhy. gigantea 'Yonamine#1' HCC/OIOS
与那嶺 勲/Mr. Isao Yonamine



Paph. Thunder Cat 'Future Shock' HCC/OIOS
Mr. Shui En Kao



Paph. Taiwan 'Hsinying' HCC/OIOS
Mr. Shui En Kao



Paph. Stone Lovely 'Smile Mao' HCC/OIOS
山本 滋/Mr. Sigeru Yamamoto



Paph. { (Via Quatal x Oriental Mystique) x Macabre } 'Wings' HCC/OIOS
大場 和夫/Mr. Kazuo Ohba



Rhy. gigantea 'Yubun' HCC/OIOS
新垣 雄文/Mr. Yubun Shingaki



Paph. lowii 'Dragon Fly' HCC/OIOS
齋藤 雅徳/Mr. Masanori Saito

認定審査部門 (Certification)



Paph. rothschildianum 'Sun-Beach' HCC/OIOS
浜本 孝幸 / Mr. Takayuki Hamamoto



Paph. Pademonium 'Shock wave' HCC/OIOS
Mr. Shui En Kao



Blc. Chian-Tzy Warm 'Queen Himiko' HCC/OIOS
安長蘭園



V. (Pimchai Beauty x Taveesuksa) 'ADISAK#2' HCC/OIOS
Mr. Krairit Vejvarut



Paph. Julius 'Big Eye' HCC/OIOS
青木 高広 / Mr. Takahiro Aoki



Rhy. gigantea 'KAIMON' HCC/OIOS
桜井 久雄 / Mr. Hisao Sakurai



Blc. Shinfong Luohyang 'Gold King' HCC/OIOS
有限会社 新垣洋らん園



V. Robert's Delight 'NENG' HCC/OIOS
Ms. Suwanna Techachareonsukchila

認定審査部門 (Certification)



V. lamellata 'Shiraho(白保)' HCC/OIOS
宮良 郁子 / Ms. Kuniko Miyara



Pot. Haw Yuan Gold 'O-2' HCC/OIOS
吳 明坤



Phal. gigantea 'Furuyama' HCC/OIOS
古山 勝己 / Mr. Katsumi Furuyama



V.(Pimchai Beauty x Tavesuksa) 'ADISAK#1' HCC/OIOS
Mr. Krairit Vejvarut



Angest. Paul Sander 'Redstar' HCC/OIOS
新井 郁子 / Ms. Ikuko Arai



Cym. tracyanum 'Ikuko & Seiyama' HCC/OIOS
川 育子 / Ms. Ikuko Kawa



Rhy. gigantea 'Riyubi' HCC/OIOS
福地 恒夫 / Mr. Tsuneo Fukuchi



Lyc. Sunray 'Kyoko' HCC/OIOS
木原 康人 / Mr. Yasuto Kihara

認定審査部門 (Certification)



Den. macrophyllum 'Haluka' HCC/OIOS
生田 茂 / Mr. Shigeru Ikuta



Den. purpureum (alba) 'Yuka' HCC/OIOS
高田 節子 / Setsuko Takata



Rhy. gigantea (alba) 'Teraoka' HCC/OIOS
寺岡 育男 / Mr. Ikuo Teraoka



V. lamellata 'miyarabi' HCC/OIOS
宮良 祐次 / Mr. Yuji Miyara



Blc. Morning Song 'Mei' HCC/OIOS
高田 節子 / Ms. Setsuko Takata



Paph. (Giallo x insigne) 'Nozomi' HCC/OIOS
稲嶺 希 / Ms. Nozomi Inamine



C. trianaei var. *concolor* 'Josai' HCC/OIOS
櫻井 幸広 / Mr. Yukihiro Sakurai

審査員名簿

(List of Judges)

審査委員長 Chairman of Judges

畑 信裕 日本洋蘭農業協同組合 組合長

審査委員 Judges

唐澤 耕司:ラン研究家 理学博士
 Dr.Rapee Sagarik:タイ国蘭協会 会長
 Mrs. Kalya Sagarik:タイ国蘭協会 副会長
 Mr.Sheh-Shun Chen:台北蘭協会名誉会長、台湾蘭花産銷発展協会名誉会長
 Mr.Wong Kiang Ho:マレーシア洋蘭生産組合 組合長
 Mr.Cheah Wah Sang:マレーシア蘭協会
 Mr.Jwee Boon Tay:東南アジア蘭協会 審査会幹事(シンガポール)
 Mr.Kelvin Neil B.Manubay:フィリピン蘭協会 会長
 Dr.Yoneo Sagawa:ハワイ大学 教授
 Dr.Kee-Yoeup Paek:韓国忠北大学 教授、第9回アジア太平洋蘭会議 議長
 神原 隆一:日本・蘭協会 常任理事・審査委員長
 岩坂 達夫:全日本蘭協会 公認審査員
 合田 一之:日本洋蘭農業協同組合 理事
 香川 義熙:蘭友会 理事・広報委員長
 村上 寛:神戸蘭友会 副会長
 宗田 利道:広島県洋らん協会 理事
 緒方 正之:九州洋らん会 副会長
 小野 義次:宗像洋らん愛好会 会長
 五十嵐 誠:(社)日本造園建設業協会 副会長
 枝吉 茂種:(社)ランドスケープコンサルタンツ協会 未来委員会委員長
 木下 恵子:(社)日本フラワーデザイナー協会 副理事長・名誉本部講師

河野 利光:(社)日本生花通信配達協会 名誉理事
 上里 健次:琉球大学農学部 教授
 大城 榮治:沖縄県蘭協会 会長
 喜納 昌久:沖縄県蘭協会 副会長
 伊佐 英仁:沖縄県蘭協会 理事
 仲本 善宜:北部らん友会 会長
 宮良 祐次:石垣島らん趣味の会 会長
 前田 實:沖縄県農業協同組合 北部地区営農センター 販売部部长
 園田 茂行:沖縄県花卉園芸農業協同組合 販売部部长
 新垣 善孝:沖縄県緑化種苗協同組合 理事長
 渡嘉敷 正彦:(社)沖縄県造園建設業協会 会長
 山内 晴子:(社)沖縄県婦人連合会 理事
 和宇慶 朝健:沖縄県立芸術大学 教授
 田村 隆:内閣府沖縄総合事務局開発建設部 公園・まちづくり調整官
 Dr.Pope Kosalaraksa:タイ国コンカエン蘭クラブ 会長
 Mr.Shui-En Kao:台湾仙履蘭協会 理事長
 Mr.Tine-Huang Chin:台湾蘭花産銷発展協会 監事
 Mr.Krairit Vejvarut:タイ国王立園芸協会
 小松 清:(財)海洋博覧会記念公園管理財団 理事長付
 花城 良廣:(財)海洋博覧会記念公園管理財団 本部長

外国の応募者が始めて最優秀賞に



日本洋蘭農業協同組合 組合長
畑 信裕

今回の受賞作品の特徴を一言で申し上げるなら、「総合の美」と表現できるのではないのでしょうか。各部門とも、作品としてのバランスが整っているものが多かったと思います。特に、最優秀賞は、同じリネコスチリス属の応募作品が多かったなかで、大きさ、花の長さ、色合など、バランスの良さが高く評価されました。

沖縄国際洋蘭博覧会は、ランを通じて世界各国の皆さんとの輪の広がっていくことを目的にしています。それだけに、外国の方が今回初めて最優秀賞を受賞したことは同博覧会の目的に大いにかなっていると思います。

外国からの出展数が今回、格段に増えたこともうれしいですね。同博覧会が、外国でもかなり認知されてきたのではないのでしょうか。

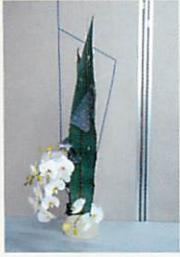


いけばな展

(Ikebana Exhibition)

沖縄県華道連盟の協力を得て9流派による蘭を活けるいけばな展を開催。

期間：平成19年2月9日(金)～12日(月)



草月流・赤嶺羊染



一葉式いけばな・比嘉葉泉



草月流・玉木利子



専心池坊・照屋雅幸



専心池坊・金城江柳



古流松藤会・長嶺理絹



華道草真流・又吉覺悦



古流松藤会・兼城理千



華道家元池坊・喜屋武光子



華道草真流・次呂久覺祥



専心池坊・棚原綾月



龍生派・新垣智華



龍生派・知花宗加



龍生派・大城代華



華道家元池坊・小黒美智子



専心池坊・崎浜和仙



専心池坊・花城春静



草月流・大湾水仙



嵯峨御流・具志堅節甫



一葉式いけばな・武島草泉



華道家元池坊・宇久信子



草月流・仲田常子



嵯峨御流・大城文甫



草月流・利根郁子



一葉式いけばな・有村慶泉



龍生派・仲程房華



龍生派・阿波連孝草



嵯峨御流・比嘉康甫



華道家元池坊・外間順子



嵯峨御流・仲程静甫



嵯峨御流・玉城常甫



櫻花遠州流・岸本利照



一葉式いけ花・渡名喜喜泉



龍生派・平良草佳



古流松藤会・潮平理保



櫻花遠州流・仲田利昌



櫻花遠州流・金城智寿



櫻花遠州流・山里利智



嵯峨御流・岸本登美甫



草月流・村山幸永



華道草真流・平良覺泡



専心池坊・山城咲苑



華道花元池坊・大田エイ子



華道家元池坊・松原繁保



華道草真流・平良覺泉



古流松藤会・町田理千代



龍生派・赤嶺美草



専心池坊・照屋詩月



草月流・野村流翠



専心池坊・我那覇玲玉



草月流・長嶺幸華

オープニングセレモニー・テープカット

(Opening Ceremony · Tape cut)



日本洋蘭農業協同組合 組合長(審査委員長)
畑 信裕 氏

沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 所長
後藤 和夫 氏

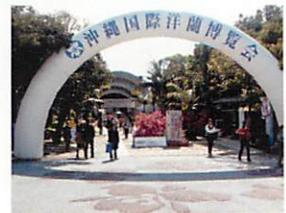
本部町長
高良 文雄 氏

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会 委員長
富田 裕次 氏

タイ園蘭協会 会長
Dr. Rapee Sagarik (写真:左から)



一般公開 (Open to the Public)



一般公開 (Open to the Public)



一般公開 (Open to the Public)



ミニコサージュ教室:2月3日(土)~5日(月)の3日間、日本フラワーデザイナー協会沖縄県支部の協力により洋蘭を素材にしたコサージュづくりの教室を実施しました。



いけばな教室:2月9日(金)~12日(月)の4日間、沖縄県華道連盟9流派の協力により各流派のいけばなの特長をデモンストレーションにより紹介する教室を行いました。



初心者クラス:ラン栽培を初めてまだ間もない方を対象にした審査会です。沖縄県蘭協会の審査により次の3点が選ばれました。

	<p>沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会 実行委員長賞 <i>Rhy. gigantea</i> (リンコステイリス ギガンテア) 前門 博</p>
	<p>沖縄県蘭協会会長賞 <i>Rhy. gigantea</i> (リンコステイリス ギガンテア) 山本 裕太</p>
	<p>沖縄県蘭協会会長賞 Pot. Haw Yuan Gold (ポティナラ ハウユアンゴールド) 喜屋武 ヨリ子</p>

一般公開 (Open to the Public)



北部農林高等学校「ナゴランの開花調整に関する基礎研究」



中部農林高等学校「野生ランの自生地環境調査」



九州東海大学「ナリヤランを保護するための研究」



「家庭でできるランの無菌播種」の実演



フルート奏者:石垣 円さん ピアノ奏者:阿波連 佳恵子さん



植物画家:橋爪 雅彦氏 ドンドルマ職人:Mr.ギユネイ



ボタニカルアート体験教室:2月10日(土)・11日(日)の2日間、植物画家橋爪雅彦氏の指導のもとランをテーマにした植物画の講習を実施しました。

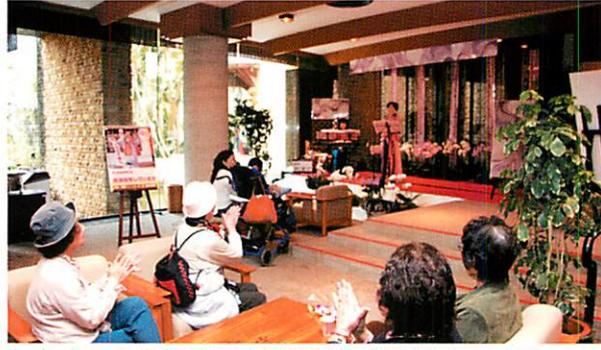


世界の珍しいラン展
「沖縄の野生ラン」

期間中毎日、沖縄の野生ランにスポットを充て、33属49種類について生態や形態的特長の展示紹介を行った。
また北部農林高等学校、中部農林高等学校、九州東海大学の協力のもと絶滅の危機にある沖縄の野生ランの保護活動の取組みを紹介しました。



ランの栽培相談コーナー/ガイドツアー:期間中毎日、沖縄県蘭協会会員の協力によりランに関する栽培相談を行うと共に、博覧会場内のガイドツアーを実施しました。



オーケッドコンサート:期間中毎日、無料休憩所及び回廊等芝生広場においてフルートとピアノによるクラシックコンサートを実施しました。



ランの栽培教室:沖縄県蘭協会会員を講師に期間中4日間にわたりカトレアやナゴラン等の植え替えや株分けをテーマに栽培教室を実施しました。



喜納昌久氏・伊佐英仁氏「カトレアの育て方」2月3日(日)



仲本善宣氏「ナゴランの栽培について」2月4日(日)



徳本行雄氏「洋ランの生育と開花」2月10日(土)



福地恒夫氏「カトレアの株分けと植替」2月10日(土)



大城榮治氏「あそび心で洋ランの着生」2月11日(日)



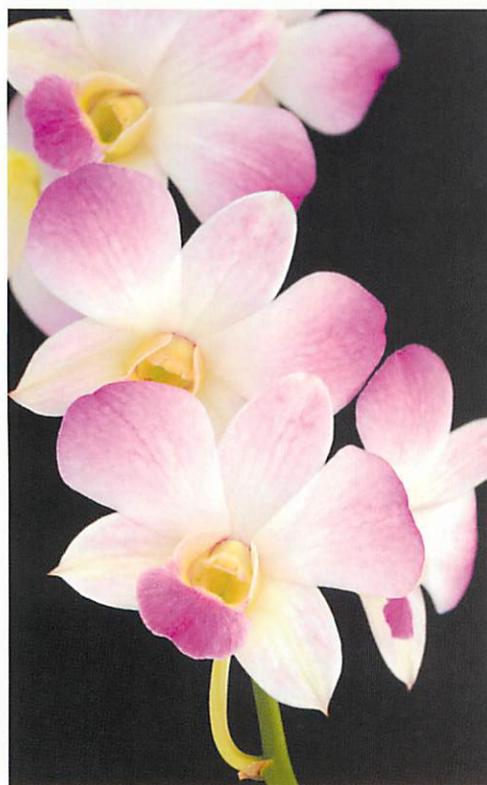
ランと生活展:ラン植物が材料に使用されているトルコの伝統的なアイスクリーム「ドンドルマ」の職人による実演販売を行いました。

一般公開 (Open to the Public)

オーキッドブライダル:期間中2月4日(日)、募集から抽選で選ばれた2組のブライダルを暖かい日差しが差し込む回廊塔芝生広場で行いました。



FM沖縄公開録音「リポーズアフターアワーズ」:ブライダルの募集から当日の司会進行(公開録音)までFM沖縄の人気DJ「仲村一枝さん」と「比嘉周作さん」の二人がサポートしてくれました。



デンドロビウム「アイミヤザト」新品種展示:デンドロビウムの新品种に県内出身著名人「宮里藍さん」の名前を登録し、一般公開を行いました。

Den. Ai Miyazato
 SEED(♀):Den. Burana Jade
 POLLEN(♂):Den.(Burana White×Hilota White)
 2007年1月18日
 英国王立園芸協会(通称:RHS)にて認定



洋蘭プレゼントクイズ:入館者を対象にランに関するペーパークイズを実施し、正解者の中から抽選でランの鉢植え・切り花をプレゼントしました。



表彰式及び懇親会 (Official Commendation)



ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

最新のランの増殖技術とバイオ技術

サガワ・ヨネオ

ハワイ大学マノア校 熱帯農業人間資源学部 熱帯植物土壌科学科教授



MICROPROPAGATION OF ORCHID, TODAY AND TOMORROW AND OTHER COMMENTS

University of Hawai

Dr Yoneo Sagawa

ランの世界は様々です。ランを商品として楽しんでいただけるように、ランの世界では多様なランを繁殖させ、スーパーなどで手軽に買って家に持って帰ることができるようにしています。

ランの様相は変わってきており、その基準も、大量生産市場に目を向け、花のみでなく植物としてランを楽しむ人に合わせたものになってきています。植物全体を評価しなくてはならないからこそ、コチヨウランなどが受け入れられているのです。コチヨウランは、花が咲いている時も美しいですが、花が終わった後の葉も美しく、観葉植物として楽しむ事ができます。

大量生産をする前に、質と量の基準を定めなくてはなりません。商業生産者はこれでは、自分達が美しいと思うものを生産してきました。しかし、販売を試みる相手は、それを美しいとは全く思わないかもしれません。ですから、どの市場に出すのかを前もって決める必要があります。さらに、切花なのが鉢植えなのかといった目的も定める必要があります。そうしないと、売れない商品を抱えることになってしまいます。

ランを繁殖させるには、成長過程にある植物の一部を少し取り、増殖させ、同じ植物を再生するという方法があります。取る部分としては、芽、横芽(腋芽)、花、茎、葉、根があります。小さく切り取ったものを、殺菌した、つまりバクテリアや菌類の無い状態にした培養液に入れるのです。

それでは、茎頂から始めましょう。成長している芽を切り取り、葉を取り除き、殺菌します。それからそれを培地に入れます。培地は、肥料に含まれるような栄養分プラス砂糖で、液体でも寒天でも構いません。企業の場合は成長した芽を使用していますが、若い芽の方がベターです。繁殖には、まだ若く成長する力もあることから茎頂がおそらく最適でしょう。

次は花ですが、咲き始める時に出てくる部分を使います。それを切り取り、外側の葉を取り除き、殺菌し、培地に入れると反応します。しばらくすると、節にそって繁殖がおこります。多少伸びすぎてしまったものを使用すると、プラスチックの中で花が咲いてしまいますが、それでも我慢強く待っていると、繁殖がおこります。

次は節です。それぞれの節を切り、殺菌し、ステロール培地に入れます。そうすると植物が出てきますが、複数の場合もありますし、一つだけの場合もあります。それをさらに増殖させてみることもできます。

コチヨウランの場合は、葉を取り除き、小さく切り、それを増殖させ、胎芽を得ることを試みます。葉全体をとって培地に入れると、葉の根元から増殖が起こる可能性が高いのです。葉の細胞は全て同じというわけではないことは、植物学界では以前から知られており、中には変異もあるため、増殖したものに変異が出る可能性もあります。

次は根ですが、根を培地に入れると、先端のすぐ下の方から腫瘍のようなものが出来てきます。この腫瘍が増殖し、時には植物になることもあります。その根にまた腫瘍ができ、また植物が出てきます。使用するのは、成長を続けている根の先端でなくてはなりません。変種が出てきます。繁殖した花を見ると一つ一つが異なり、質の高い花として大量市場で販売することはできません。これが、根からの繁殖の問題点です。

他に考慮すべき点は、繁殖を始めるために取る部分が小さければ小さいほど、きちんと殺菌できる可能性が高いということです。ただし、成長に時間がかかります。今私達は、バイオベティウムの繁殖方法を完璧にするために、成長の早い植物を選ぶという戦略転換を行なっているところです。1.0年以内にバイオベティウムの繁殖方法が確立すると考えていますが、バイオベティウムは大量市場に出回る品種になるだろうということから、優先順位が高くなっています。

殺菌の方法は、水ですぐ、アルコールで拭く、ブラシですること、次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カルシウム、過酸化水素を使う方法があります。次亜塩素酸ナトリウムは非常に良い方法で、スーパーに行って手に入れる事ができますし、薄め液を使っても構いません。培地は、シンプルなもの最適です。

これはもちろんカルスですが、非常にシンプルなものに加えたり除いたりすることで、カルスのままの場合もあれば胎芽ができることもあります。この胎芽が植物に成長します。

私からのコメントとしては、百万株の生産を目標にするなら、1つの種片から初めてはいけないということです。1つから百万を作ろうとすると変異が起こる可能性が高くなります。急激に増殖を繰り返すと、突然変異が起きますのです。また、突然変異が起きるので増殖させたクローン植物から増殖させては行けないと言っているのですが、十分に成長させないで行なった場合に突然変異が起きますのです。変異では無いことを確認する必要があります。成長の習性については、今日では、成長しない植物は捨てるという理念を持つべきです。最後のコメントは、最終産物がどうなるのを知っている、もしくは予想できなくては行けないということです。そうすれば変異が起きず非難されることもありません。

Orchid world is so varied. In order for you to enjoy the products of orchids, the orchid world has developed ways to propagate orchids so they may become more common and you can go to a grocery store and buy an orchid to take home.

The standard for judging an orchid is turning more to the mass market, to the person who is going to enjoy the plant, rather than just the flower. Our standard has to change such that you think about the entire plant. That's why some of the orchids are gaining acceptance like Phalaenopsis. It is very beautiful when it is in flower, and after it's gone it has beautiful leaves so you can enjoy it as a house plant.

Before you start to mass produce orchids, you have to establish a standard of quality and quantity. Up until now, the commercial growers have been growing what they think are beautiful. But the person you are going to try to sell it to may not take it as beautiful at all. So you have to pre-decide where your market is going to be. You also have to determine what you are growing your plants for - if it is for cut flowers or potted plants, otherwise you will end up with plants that you can't market.

In order to increase orchids, you can take little pieces of certain parts of the plant where it will still grow, and multiply and regenerate the same plant. You can take the shoot tip, side bud, inflorescence, the little cutting from the stem, cutting from leaves, and cuttings of the roots. You have to take a small piece of a plant, put it into nutrient solution which has to be totally disinfested, in other words be free of bacteria or fungi.

I'll start from the shoot tip. You can take the growing shoot and peel off all the leaves, and disinfect it. Then you put it into culture medium. The culture medium contains nutrients as you would provide from a fertilizer plus sugar. The medium can either be liquid or jelly by agar-agar, or Kanban. It is better to take a young shoot although commercial companies take older one. The tip is probably the best to get proliferation because it's young and willing to grow.

The next one that I'll take is inflorescence that is the flower shoot as it begins to come out. If you can cut it all, peel off outside leaves, disinfect it and put it into culture, it will respond. After a while, along the nodes, you get proliferations coming. If you take an inflorescence that has extended already a little bit too much, what you get in the flask is flowers. If you are patient about it, then later on you get propagations again.

The next one is the node. You take cuttings from each of the nodes, disinfect it and put it in sterol media. And then you will find that the plant comes out. Sometimes you get more than one plant, sometimes you get a single plant and you can attempt to multiply.

In Phalaenopsis, they take the leaves, cut it up and try to multiply from it. They try to get propagules from it. If you take the entire leave and put it into culture, you have more chances of getting the propagations from the base of the leave. It has been long known in botany that all the cells in the leave are not the same. There are variations in the cells in the leave so you sometimes get variations.

Now, roots. If you put the roots into culture, you'll find that at just below the very tip, it starts to produce something like a tumor. This growth can be multiply and occasionally, you will get plantlet coming out of it. And roots that occur again produce more tumors and you will get plants again. You have to use the growing tip of the root. When you do that, you get variations. In the flowers we propagate, every one is different and you can't sell it in the mass market as quality flower. This is the problem in the root propagation.

Other considerations that you can do is, the smaller the piece you can get to start with, the better chance you have for disinfecting it. However, it takes longer for that piece to grow. We are changing our tactics in selecting fast growing plants in order to try to perfect a method for doing it for Paphiopedium. I am sure, with the next decade, we'll have a system for doing Paphiopedium which is getting to be high priority because probably the next plant that will hit the mass market is Paphiopedium.

The ways which you can disinfect your plant materials are to rinse in running water, wipe with alcohol, scrub with fine brush, use sodium hypochloride, calcium hypochloride, or hydrogen peroxide. You'll find that sodium hypochloride is a very good material. You just go to a grocery store and buy it. You can use diluted solution of that.

When it comes to medium, the simplest medium is probably the best. You can manipulate the friable callus by adding or subtracting very simple thing, you can either continue with the friable callus or you can produce embryos. These embryos will grow into plants.

My comments are, if your target for production is 1 million plants, you shouldn't start with only one piece. If you take one piece to one million, chances of getting mutations or variations is very high. If you rapidly duplicate, you are going to have mutations. The second hint is that a lot of people say if you have a clone plant, do not clone it again because you are going to get mutations. You get mutations if you don't take that clone plant to maturity. You have to check up to see it is not the clone plant that is variant. Growth habit - today, your philosophy should be, if it doesn't grow, you should throw it out. The last comment is you should always know or be able to predict what your final product is going to be from what you did is so that you don't get accused of being so variant.

ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

韓国のラン産業の現状とラン栽培の研究
 韓国国立忠北大学教授、先端園芸技術開発研究所所長
 キー ヨブ ペク

Orchid Industry in Korea and Related Research
 Chungbuk National University
 Director & Professor Kee-Yoep Paek



皆様こんにちは。これから「韓国のラン産業の現状」と「マイクロプロパゲーション、環境順応化、水耕栽培技術など私の研究所で行ってきたランに関する研究」について話します。

ここに書かれている漢字を会場の殆どの皆様は理解できるとは思いますが、これはある農業技術センターにある碑文で、「農業は地球の基礎であり最も重要なものである」という意味です。しかし、韓国における農業の重要性は低くなってきております。日本も同様な傾向があるようで、若者の農業離れが進んでいるようです。

この地図は現在の韓国におけるラン栽培業者の分布図で、南北に広く分布し、北方の寒い気候の地域から、亜熱帯地域のチェジュ島など南方の暖かい地域まで広がっています。2005年現在、ランの栽培面積は279ヘクタール、花卉栽培面積3.5%、売上高は米国ドル\$107百万ドルで、10%を占めています。ランの輸出量は急増しており、2000年以降、毎年129%の増加を見せています。栽培農家は合計で1000名ほどです。

毎月のコチョウラン、デンファレ、シンビジウム、オンシジウムの価格はそれぞれ違うピークを示し、開花時の違いを反映しています。高価な東洋ランは殆ど輸入に頼り、主に台湾と中国から輸入していますが、春蘭は日本から輸入しています。デンファレは1年1回のみをタイ国から輸入し、1年から6ヶ月成長させ、国内市場に出荷します。

韓国のシンビジウム生産はラン全体の38%を占めており、鉢植えを中国や香港に輸出しています。しかし、栽培関連の技術権の所有者である日本の会社に高額なロイヤルティとして使用料を支払っているのが現状であり、ラン栽培業者の大きな負担となっています。米国にはリレー方式と呼ばれる方法でコチョウランを輸出しており、その輸出は増加の傾向にあります。韓国の農家がある程度育てたランの鉢物をサンフランシスコ、ロスアンゼルス、フロリダなどの韓国系ラン業者者に輸出（この種のラン全体の輸出の75%）し、そこである程度成長させてからアメリカ市場に出荷します。しかし、その苗木は台湾や日本（ある特別な種類のみ）から輸入しています。

韓国のラン産業の競争力という観点から輸出を考えますと、韓国の気候と技術的優位性を考慮してシンビジウムは中国への輸出増加が今後5年間は見込まれています。中国市場では、韓国のシンビジウムは高品質で低価格との評判を獲得しており、人気があります。日本のシンビジウムは種類の豊富さと高品質では定評がありますが、高価格となっています。韓国では、今後は交配など技術の向上が求められていますが、時間がかかりますので、10年後には新品種が開発されているかも知れません。

韓国のラン栽培は、高品質のクローン生産、新品種の交配、輸出用鉢に使う培地の開発、病気や害虫の駆除など改善が必要です。例えば、軽石は100%日本から輸入し、ミスゴケや樹皮も殆ど中国や台湾など海外に依存していますので、今後は国内で高品質の培地の開発が必要です。輸出に関しては、ランの量と質（均一性）の確保、ダンピングによる価格の低迷の解決、輸送コストの削減、ネットワークの形成と広報活動の活性化など今後の取り組みが求められています。

東洋ランは韓国でも人気が高いですが、殆どは輸入されています。20年ほど前、国内の20社が東洋ランを商業ベースに乗せようとしたが、殆ど失敗しました。成長に5~7年かかり、生存率も低いのが主な理由がもしませぬ。

私たちの研究テーマである、コチョウランのクローンを使ったマイクロプロパゲーションは1995年に開始されました。テーマは、PLB増殖、茎の成長、苗木にとって最適な状態を作るために、空気温度、換気、照明の強さ、栄養補給、シヨ糖濃度、バイオリクターによる組織培養など適正に維持する事が重要な鍵となります。

組織培養の初期段階で健康又は異常な植物を見分けるために、DNA検査やMSAP電気泳動検査など、いろいろ実施しています。組織細胞の顕微鏡所見で分かることも多々あります。外植体の決定も重要な要素となります。

組織培養する際、2~3週間かけて、植物が新しい環境に順応できるようにする技術の開発に取り組んできました。その際、コチョウランがどの温度で、どの程度の照明があればより多くの二酸化炭素を吸収し、成長が促進されるのかなど研究しています。スライドでその環境順応設備を紹介いたします。この設備を利用して自動的に栄養補給、温度調整・湿度調整・昼間と夜間の長さの調整などを実行しています。

韓国においては、急激なラン産業を中心とする花卉産業の発展がありました。しかし、間もなく花卉類全体が生産過剰に陥り、花類の価格の低下を引き起こす結果となりました。その対策が今後、求められます。

Good afternoon. Today, I am going to talk about two things: Orchid Industry in South Korea and My Research Works on Micropropagation, acclimatization, and hydroponic culture cultivation.

Most of you understand the Chinese characters which mean: "agriculture is the basic of the world and is the most important thing." The importance of agriculture has been diluted through generations in Korea. Japan seems to have the same situation: most rural areas have very few young people.

There are a wide range of climate characteristics where orchids are cultivated in Korea today: very cold climates in the north and warm southern areas such as the subtropical island of Cheju. As of 2005, the orchid cultivation area is 279 ha which accounts for 3.5% of the total floricultural area. The production value of orchids amounts to 107 million US dollars which accounts for 10% of the total flower production value. The amount of orchid export has rapidly increased since 2000 with more than 129% increase every year. The number of growers is about 1000.

The changes of monthly production value of Phalaenopsis, Cymbidium, Dendrobium phalaenopsis, and Oncidium in 2002 and 2003 are shown.

90% of Dendrobium phalaenopsis in bottles for tissue culture come from Thailand. The expensive variations of Oriental orchids are imported from China and Taiwan, and Shun-ran is imported from Japan. Korea imports 9 million Oriental Cymbidium orchids per year. Most of Korean growers of Dendrobium phalaenopsis import the young orchid plants from Thailand and ship them after one year or six months.

The production of Cymbidium reached around 38% of the total orchid production, and the potted orchids are exported to China and Hong Kong. The royalty paid to Japanese companies for certain technology are costly, and it is a burden for growers. The middle sized Phalaenopsis plants are exported to growers in the United States (75%) namely San Francisco and Los Angeles, which is growing. The young plants are imported from Taiwan (93%) and Japan due to limited varieties of Phalaenopsis grown in Korea.

In terms of competitiveness of Korean orchids, there are some advantages. Cymbidium is exported to China and the export is expected to increase for the next five years due to better climate condition and a higher cultivation technique in comparison with China and Taiwan. High quality and low price Korean Cymbidium plants are popular in Chinese market since Japanese Cymbidium plants of new varieties are more expensive. Breeding takes time. Maybe in 10 years we will have new varieties in Korea.

The cultivation in Korea needs to be improved to gain stable production of high-quality clones, breed new varieties, make year-round culture system by introducing hydroponic culture, develop new growing media for export, and strictly control disease and insects. Most of the potting media for orchids such as pumice (100% from Japan), bark, and sphagnum moss are imported from Japan, Chile, and Taiwan. It is important to guarantee the amount and quality of orchids that we export, avoiding dumping exports, reduce the distribution cost, and promote sales network and public relations.

Oriental Cymbidium plants are quite popular in Korea but most of them are imported from Taiwan and China and some expensive ones from Japan. We try to propagate Oriental Cymbidium by tissue culture. Twenty years ago, about 20 companies tried to commercially propagate Oriental cymbidium, but most of them failed because some of them take about five to seven years before they can sell, and the survival rate was low.

In terms of micropropagation, I will focus on Phalaenopsis which was started in 1995. In order to determine optimal culture conditions for PLB proliferation, shoot induction, and plantlet propagation, we need to control air temperature, air exchange, PPF, nutrient supply, sucrose concentration, and bioreactor culture. In order to determine normal or abnormal plantlets regenerated from PLB, we conduct DNA analysis and electrophoresis. The determination of the source of explant is important. In vitro analysis of thin and thick leaf sections were studied. The root tip culture was also studied. Following three months of tissue culture, plantlet regeneration and growth from PLB in bioreactors were studied. We try to identify abnormal plant at the initial stage of tissue culture by using MSAP electrophoresis patterns. Acclimatization is a factor to determine morphology and physiology of the orchid plants. It requires proper humidity, air temperature, PPF (light intensity), nutrient solution strength and growing media. It takes two to three weeks for acclimatization before transplanting in a greenhouse. Our research center has invented an acclimatization facility, a kind of hydroponic culture system. This facilitates various controls. Thank you very much.

出展者紹介 (Participants)

鉢物・切花・外国出展審査

- | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|
| <p>【宮城県】
岸野 哲也
【茨城県】
鈴木 陽子
和田 洋
和田 キミ子
【埼玉県】
野口 悦男
【千葉県】
古山 勝己
(株)大場蘭園
【東京都】
黒澤 敏行
三好 勝彦
【神奈川県】
石川 晴夫
重田 裕充
稲嶺 盛昭
大津 豊隆
内田 正比古
松風 喜美栄
落合 功
中島 文子
永井 清
(株)相模洋蘭園
重田 悦子
浜本 孝幸
石井 春枝
内藤 実
川本 広
高橋真澄
千葉 宏之
岸 美枝子
稲嶺 希
佐藤 武
長嶋 奈加子
久保 陽子

【福井県】
伊藤 香治
【長野県】
青木 高広
唐澤 耕司
牧 久雄
新井 郁子
若林 光男
粟野原 潤
市川 栄子
松沢 芳美
綿貫 芳文
山上 宏
笠原 晴道
蘭ミュージアム・高森
中川 久雄
渋谷 妙子
矢沢 律子
清水 一宏
矢沢 光海
木原 久子
【愛知県】
岡田 浩和
(財)名古屋市みどりの協会
ランの館
近藤 安親
【滋賀県】
久保田 貞雄
久保田 慶子</p> | <p>竹島 彌二
【京都府】
澤井 公和
吉岡 重子
岡村 満則

【大阪府】
別所 和敏
長東 惠美子
松尾 寛治
神原 隆一
中村 正人
松尾 幸代
【兵庫県】
田口 克次
橋本 利太
横島 文子
守本 日吉
堀川 吉彦
北瀬 哲子
牧田 夏雄
浩 浩
川上 大誠
原田 英美
守本 佳子
村田 孝男
西村 栄子
内田 瞭子
中尻 利弘
下森 武夫
松本 法子
山本 滋
長谷川 安宣
稲田 隆一
松田 弘子
足立 剛
長井 太知子
松尾 昌子
中谷 弘幸
島野 靖夫
松尾 實
宮崎 敏章
谷田 真也
関西洋ラン原種保存会(KOSP)
金田 奉文
尾崎 恒夫
竹村 永一郎
笹子 龍
横井 重子
櫻井 幸広
【奈良県】
辻 勲
【和歌山県】
瀬戸内海洋蘭
山下 誠一郎
(株)味泉蘭ing
稲葉 司
小坂 征夫
樋口 茂
岸田 惠美子
生地 英明
吉川 俊恵
紀ノ川オーキッド 川口
【鳥取県】
森 正宣
高田 節子
金平 隆哉</p> | <p>精山 吟子
堀内 達道
堀内 清子
石原 正雄
宇都宮 正昭
小原 節朗
坂根 美紀子
鳥羽 ハヤ子
浜田 征司
原田 幸一
日野 永巳
福島 浩一
福光 正子
松田 邦子
最上 静美
森田 弘
山下 雅子
山本 吉博
【岡山県】
塩飽 洋太郎
倉橋 定男
南本 修二
藤 広治
川 博久
児子 哲夫
太田 徳子
竹内 ちずか
小林 高樹
姫嶋 幸一
神田 祐史
河本 栄子
川 育子
森山 雅弘
【広島県】
上田 衛
広島市植物公園
福井 中庸
柳本 昇
宗田 利通
清水 昭一
住吉 秀文
松岡 勝則
前藤 宜弘
前藤 文二
藤崎 育男
小林 幹弥
廣井 正
【山口県】
高橋 茂美
西村 隆行
桜谷 孝子
藤井 妙子
さよみ
小林 英美
岩本 秀夫
藤田 一夫
萩原 幸夫
木下 恭子
片山 郁夫
小田 善一郎
樹田 昭夫
柳井オーキッドクラブ
若崎 克之助
岩崎 広
猿渡 啓志
山本 英</p> | <p>【香川県】
佐藤 健二
大場 和夫
山崎 恭史
四国・大場ラン園
【愛媛県】
松井 博
平山 博愛
黒田 ヨシ子
久保 研
安葉 力男
平山 柚美子
【福岡県】
小野 義次
石松 久芳
伊藤 清水
小田 豊明
高橋 淳
齋藤 雅徳
本田 裕之
水間 満清男
山岡 桂一
酒井 昭雄
生田 茂
久保 容子
石橋 エミ子
阿部 孝代
小野 妙子
山田 美代子
藤 英俊
大森 久美子
角 昌之
永吉 賢次
原 吉朗
有高 キヨ子
本堀 和美
岩間 久代
毛利 喜代子
尾湯 守基
犬飼 正之
新保 ヒナ子
金澤 昌代
大久保 貞一
福田 幸吉
犬飼 美津子
岩谷 喜美子
貝原 京子
福田 トヨミ
衛本 テルミ
森満 節子
白石 栄子
岩永 ミツエ
清水 久美子
松林 幸子
小島 春子
前田 栄美子
三宅 京子
嶋津 加代子
早生 橋本
桃崎 千寿子
井手 良一
【熊本県】
本原 邦彦
水谷 美和
波多野 啓太</p> | <p>黒田 温
【大分県】
若杉 政子
前田 巳喜雄
田辺 豊茂
菅 ミサオ
安長蘭園 安長博文
峰 ハマ子
安長 茂子
工藤 ミヤ子
安田 惠美子
丸山野 尚子
【鹿児島県】
桜井 久雄
【沖縄県】
安里 弘
浦崎 直徳
花城 可保
玉城 詠光
兼城 賢一
山城 喜光
照屋 清健
赤嶺 善助
仲本 善宜
町田 繁
長嶺 由守
徳本 行雄
平安山 良勝
並里 松宏
新垣 勝信
平地 正三
宮城 浩三
伊佐 英仁
宮城 裕明
宮良 祐次
山川 宗賢
小禄 茂雄
城間 恵子
大城 榮治
徳田 米蔵
屋宜 宣武
喜納 昌久
新垣 善一
宮城 喜盛
内原 英吉
新垣 雄文
(有)仲里園芸
(有)新垣洋らん園
沖縄熱帯植物管理(株)
新里 昌重
村吉 誠徳
棚原 由美子
宮良 博文
照屋 利美子
新垣 園子
宮城 トミ子
崎浜 清子
祝嶺 秀治
棚原 良行
大城 幸一
宮城 美智子
山本 良文
城間 正守
山城 和子
町田 文子
宮良 都子
福地 恒夫</p> | <p>多和田 雪子
喜納 悦子
平地 ますみ
ピオスの丘・(有)らんの
里沖縄
山本 和代
松田 明美
大城 巖
藤村 千代
屋嘉比 代子
小波津 正雄
宮城 昌直
金城 達広
久田 友保
新垣 壮大
宮城 竹子
新里 典子
久田 悦子
仲真 米子
仲真 百代
幸喜 弘
川上 かおり
上間 ふさ子
与那嶺 勲
小波津 園子
城間 礼子
白玉 利夫
竹田 伸之
小花 一夫
安里 チエ子
安里 竜一
観川 洋子
茂刈 洋子
新垣 政江
具志堅 直樹
名嘉真 宜弘
石川 悦子
呉屋 健一
小禄 範子
嶋袋 智恵美
福原 謙典
名嘉 義明
名嘉 一美
与那嶺 裕作
山城 弘美
名嘉真 勉
名嘉真 貞江
又吉 康晴
長嶺 由亮
又吉 文子
喜屋武 ヨリ子
柳本工作所
川久保 明宏
JAおきなわ具志川支店
奥間 政正
小橋川 元行
木原 康人
具志堅 友子
前門 博
與儀 直実
照喜名 利奈
玉城 信子
岳原 修
崎浜 良計
知念 良計</p> |
|---|---|--|--|--|--|

外国出展審査

【インドネシア】

Mr. Henry Eksan

【シンガポール】

Mr. JB TAY

【タイ】

Mr. Preecha Techachareonsukchila

Mr. Prakong Pimsamarn

Mr. Krairit Vejvarut

Mr. MANA

KUCHAROENCHAIMANATEE

Mr. TAWATCHAI JANEWANICHWIT

Mrs. PASSAPORN CHUAPONG

【フィリピン】

Mr. JUN GOLAMCO

【マレーシア】

Mr. Cheah Wah Sang Orchid Farm

Mr. Wong Kiang HO

【台湾】

Mr. Tine Huang Chin (Mr. 秦 添煌)

Mr. 吳 明坤 Mr. Ming-Kuan Wu

Mr. S.S.CHEN

Mr. SHUI-EN KAO

Mr. nan Hui Su 蘇南回

Mr. 黃文榮 佳和蘭園

ディスプレイ審査

琉宮城蝶々園

金秀グリーン株式会社

ピオスの丘・有限会社らんの里沖縄

大自然の楽園

有限会社仲本造園土木

株式会社沖縄庭芸

本部造園株式会社

沖縄園芸株式会社

宮里グリーンサービス

有限会社花時

沖縄県立北部農林高等学校 園芸工学科

株式会社グリーンテックトータル

沖縄熱帯植物管理株式会社

有限会社紫光園

マレーシア洋蘭生産組合

Preecha Nursery

好生蘭園

マレーシア蘭協会

台北市蘭藝協会・台湾蘭花産銷発展協会

フラワーデザイン審査

【長野県】

百瀬 育代

【沖縄県】

新川 栄子

池原 昌彦

大城 利重子

翁長 幸子

斉藤 有代

新里 直幸

高江洲 均

湊川 モリ子

本部 みさ子

山里 勝子

上間 睦子

高宮城 実俊

阿波根 昌一

阿波根 秀子

小川 初美

瑞慶山 秀雄

洲鎌 広明

佐喜真 ゆかり

桃原 栄子

仲田 るみ子

新垣 弘美

外間 未珠

平良 千鶴子

飯室 宏治

飯室 輝美

和田 マリ子

親泊 美希子

山内 昌吉

赤嶺 彩子

金城 みどり

平安山 チエミ

金城 淳子

洲鎌 菜保子

屋我 幸恵

島袋 つや子

大城 江吏子

天願 博行

平良 弘子

井手 八江子

謝花 一世

松田 和子

石川 清治

亀谷 望

棚原 一樹

安慶名 浪

百瀬 芽

比嘉 のぞみ

成合 正幸

赤司 大介

久高 将智

来間 敦子

松川 美雪

西島 正子

仲本 政宗

平良 美香

照屋 裕子

新川 明佳

仲宗根 実寿

高江洲 みゆき

徳門 幸

国吉杏奈

久保田愛乃

当山 美希

外間 綾子

土屋 米子

稲家 和子

国仲広江

安座間里江子

記念品について (Souvenirs)

【入賞記念品】

前田 孝允 Mr. Koin Maeda

漆芸作家

沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」技能保持者

琉球漆器

琉球漆器は、14世紀の後半、中国との交流が盛んになった時代に確立されたと考えられています。その後日本等の影響を受けながら発展し、15～16世紀頃には中国や東南アジア、日本等に輸出され重要な交易品となりました。

琉球漆器には沈金や螺鈿、箔絵、堆錦等多様な技法があり、その表現力や美しさ、丈夫さで高く評価されています。今回入賞記念品は、箔絵・漆絵の技法を用いてカトリアを表現しました。



大賞

【出展記念品】

知念 績元 Mr. Sekigen Chinen

知念びんがた工房 代表者

沖縄県指定無形文化財「びん型」技能保持者

経済産業大臣認定「琉球びん型」伝統工芸士

琉球びんがた

びんがたは、古くは琉球王朝時代に婦人の礼装、神事の服装などとして摺り込みの手法で染められたことがその期限であると言われていました。その後14～15世紀に東南アジア各国との交流の中で染色の技術を学びとり、現代までその技法が伝えられたものです。

図柄は、絵画のように立体的な図案の構成の中に四季の風物を融合させたものです。びんがたは、沖縄の長い歴史と風土にはくまられた世界に誇る染物です。

尚、今回制作しました記念品は、第20回沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)を受賞したPaph.Lecanumを沖縄伝統工芸品であるびんがたでデザインしたものです。



協賛団体紹介

Introduction of Sponsors

●協賛(商品提供)

日本・蘭協会
 全日本蘭協会
 日本洋蘭農業協同組合
 蘭友会
 沖縄県蘭協会
 沖縄県農業協同組合
 沖縄県花卉園芸農業協同組合
 (社)沖縄県造園建設業協会
 (社)日本フラワーデザイナー協会
 (社)日本生花通信配達協会(JFTD)
 (社)ラントスケープコンサルツ協会
 (社)日本造園建設業協会
 沖縄県緑化種苗協同組合
 全日本空輸(株)
 (有)らんの里 沖縄
 株式会社 日本航空
 CHINA AIRLINES 沖縄支店
 北部らん友会
 九州洋ラン会
 横須賀洋蘭クラブ
 広島県洋らん協会
 宗像洋ラン愛好会
 神戸蘭友会

●協賛金

沖縄電力(株)
 琉球セメント(株)
 オリオンビール(株)
 沖縄明治乳業(株)
 沖縄ボトラーズ(株)
 沖縄コカ・コーラボトリング(株)
 (株)琉球銀行
 (株)沖縄銀行
 (株)沖縄海邦銀行
 (株)沖縄環境開発センター
 沖縄熱帯植物管理(株)
 (株)グリーンテックトータル
 (株)本部造園
 (有)仲本造園
 (資)本部清掃
 (有)紫光園

(順不同)

沖縄国際洋蘭博覧会2007

出展者数・出展ラン及び展示総数

	鉢物審査の部		切花審査の部		外国出展審査の部				ディスプレイ審査の部			フラワーデザイン審査の部				総合計				
	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 本)	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 本)	出展 団体数	出展内容 鉢物 (株)	出展内容 切花 (本)	総合デザイン 出展者数 (人)	総合デザイン 出展点数 (切花 本)	アレンジメント 出展者数 (人)	アレンジメント 出展点数 (切花 本)	ニューブーケ 出展者数 (人)	ニューブーケ 出展点数 (切花 本)	出展者数 (人)	鉢物 (株)	切花 (本)
外国 (5カ国 1地域)	-	-	-	-	11	1,700	20	1,390	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1,700	1,390
県外 (25都府県)	252	587	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	253	587	23
県内 (15市町村)	93	388	25	320	-	-	-	-	19	2,090	570	13	671	29	847	32	731	211	2,478	3,139
合計	345	975	25	320	11	1,700	20	1,390	19	2,090	570	13	671	30	870	32	731	495	4,765	4,552
公園展示 ラン合計																			2,940	
合計																			7,705	4,552
総合計																				12,257



ANAは、
沖縄を応援します。

いままでも。そして これからも。

ANA

国内線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-222
国際線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-333
または、お近くの**ANA**指定旅行会社まで。
ANAホームページ www.ana.co.jp/

地域とともに、地域のために



沖縄電力

浦添市牧港五丁目2番1号 〒901-2602
TEL(098)877-2341(代表)

郷土の資源で



郷土をつくる

琉球セメント株式会社

ふれあい、いきいき。

Orion
オリオンビール

MEIJI

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 浦添市牧港1-65-1 TEL098-877-5274

Enjoy!
Coca-Cola



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会
〒905-0206 沖縄県本部町字石川424番地